



『全力！女子応援計画』(ハニプロ) 男性社員と共にプロジェクトが始動

2013年4月に就任した平光敬和社長が掲げた経営ビジョン「お・か・げ・さ・ま」精神の「さ」に意味する思いは、「価値観・思い・性別・年齢など『さまざまな』社員が成長し続ける」「女性も男性も同じリズムで働くこと」「入社した社員は女性も男性も活躍する土壌を作りたい」という社長方針のもと、昨年9月「なでしこキラキラプロジェクト(仮名)」が発足した。このプロジェクトメンバーは、男性2名と女性3名の5名で、その中でも、女性メンバーとして抜擢された藤本さんと堀江庸子さんは、このプロジェクトに並々ならぬ思いがある。

藤本さんが店舗の事務職で入社した17年前は、お茶出しは女性社員の仕事という時代。その後、本部の新車部に異動になり自分で仕事を動かす面白さを味わってから仕事への意識が変わったという。トヨタ関連会社が集まる会議に参加、他県の販売会社の方と協力し合える関係づ

くりを築いていき、お客様の希望車種の在庫がない場合でも、他県他店舗へ交渉、「藤本さんに頼めば大丈夫」と認められていくのが嬉しかった」と語る。

入社12年目の堀江さんは「入社当時“トイレが詰まっている”“古くなったつなぎを処分して”など、いわゆる雑用ばかりだった」と語る。どんな雑用でも仕事だと気持ちを切り替え、プラスαの力もつけたいと宅地建物取引主任者や衛生管理者の資格を取ってアピールしたが、年齢の上の男性がいるため仕事を任せてもらえないという時期が続いていた。それでも仕事を任せてもらえる喜びや責任感から、日々の仕事には手を抜かないという気持ちでやり続けた結果、社内規定の作成や運営に携わる機会ができた。「認めてくれる上司と出会えたことが嬉しかった。今回のプロジェクトをきっかけに、女性社員が活躍できる会社にしていき



左から「Team Honeybee」メンバーの三浦課長、三津山係長、藤本さん、堀江さん

発行日：2014年3月5日
発行：静岡県経済産業部労働政策課

企画・制作：株式会社るるキャリア
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町11-1 浮月ビル5階
TEL：054-252-8820 FAX：054-270-6520
URL：http://www.uruoipplus.jp



「ハニービー」ポーズの堀江庸子さん(左)と藤本八千代さん(右)

い」とプロジェクトへの思いを熱く語る。「女性社員(男性社員も)が生き生きと、やり甲斐を持って働き続けられるよう全力で応援するミツバチになる」という意味を含め、プロジェクト名称を「Team Honeybee(通称ハニプロ)“全力！女子応援計画」に変更。全社員の前でプロジェクト内容を発表する機会があり、初体験で緊張したものの「やるからには楽しくやろう」と「ハニービー」ポーズも決めて、プレゼンは大成功。女性社員だけでなく、男性社員の意識も変わりつつあるという。「女性社員に潜在的にひそんでいる思いやパワーを“なんとかする!!”というスローガンに女性活躍の未来が映し出されていた。

【会社概要】静岡トヨペット株式会社
代表取締役社長 平光 敬和
所在地：静岡市葵区長沼 611
設立：昭和31年5月
従業員数：696名(男性609名・女性87名)
事業内容：新車販売/中古車販売・自動車整備・車両リース

活躍女子の窓

~管理職としての葛藤、部下と共に成長する活躍女子~

現在勤めている会社は、立ち上げから携わり、今年の8月末に勤続年数丸10年になる外岡さん。幼稚園教諭として働いた後、制作プロダクション、広告代理店へ勤務、そして現在の会社へ就職…と様々な経歴を持つ彼女の仕事観、そして未来にせまります。

~仕事の面白さと大変さ~

「会社における自分の責任を明確に理解できれば、誰でもチャンスを得、その中からやりがいや面白さは見いだせる」と語る彼女は、管理職という立場で働く中で日々葛藤を繰り返しながらもやりがいをみつけ、業務に取り組んでいる。1週間の殆どの時間を過ごす会社環境や仕事をより面白く楽しくするために、日々試行錯誤を繰り返し、仕事や職場の雰囲気を作り出している。「このポジションで自分ができることを見つける」と考えるからこそ、仕事を人一倍楽しめているに違いない。

また、彼女は部下を持つようになり、部下との関わり方の難しさに直面している。会社は10年目に入り、その間に何人もの仲間の入れ替わりがあった。その中には、彼女の価値観の押しつけが退職の原因となった事例も…。その時、社長からかけられた、「外岡さんの良い勉強になったな」という言葉で、意識は変わっていった。「私も一緒に成長させてもらおう」この意識の変化が、部下を持つ今の彼女を支えている。

~しごと塾への参加動機と変化~

部下との関わり方に迷いや悩みを抱えるようになり、「自分と同じポジションの女性の方との出会い」を期待し、しごと塾への参加を決めた。そこで、部下や後輩たちと同じような年齢・立場であり、それぞれの環境や立場で、様々なジレンマを抱えながらも物事を真面目に考えている人た

ちに出会った。しごと塾を通し、「自分は上司として、部下にチャンスを与えられているか?」「自分の力で仕事を面白くする!という意識に引き上げられているか?」等、上司としての自分を見直すきっかけを得たという。初心に戻り部下・後輩を持つ責任を再認識した彼女は、今後更に現在のポジションで活躍していくに違いない。

~彼女の未来~

「仕事、私生活ともに十分楽しめるほどの、仕事面・身体面の基盤を作りたい」と語った。「日常をいかに面白く楽しくできるか」ということを念頭に置き行動する彼女は、自分の生活の面白さ楽しさを追求するだけに止まらない。仕事に置いても、「会社に期待する事や楽しいという気持ちを、部下や後輩、その部下や後輩…へと連鎖させていきたい」という。彼女の周りで、どのような面白いこと、楽しいことが生まれていくのか…。今後、益々の活躍に期待が高まる。



<プロフィール>
○名前：外岡 恵子さん
○出身地：静岡県静岡市
○会社名：株式会社トレジャーワークス
○職種：広告業・営業事務
○年齢：40歳
○あなたにとって仕事とは…：
心身ともに豊かな生活をする術

管理職の虎の巻

部下の言動で、対応に困った事例

私たちは、こう解決します!

女性社員の部下対応で困った事例について、管理職の方々でディスカッションしました。

- 困った事例** 「新しい改善策や上司の指示に対して、なかなか納得しない。ぐずぐずして動かない、変化を嫌う部下」

考えた対応案 「改善すればこういう効果がある」というメリットを伝える前に、「上司が見ているよ」「難しいこともあるけど大丈夫だよ」と伝えて安心感をもってもらう。

【解説】 ◎ リスクに対して敏感、行動する前にまず「安全」を確認したい部下には<対応策>のような接し方が効果的。納得すると行動は早い、協力的に行うようになります。
- 困った事例** 「感覚的に一度嫌いと思うと、その人のすべての事に対して受け付けられない部下」

考えた対応案 そもそも「仕事とは」、何のために働くかという仕事観についてじっくり話す。

【解説】 △ 事実と感情を分けて考えられない方に、正論を話しても受け付けられない場合があります。まずは「どんな事が起きたのか」と同時に「どんな嫌な思いだったか」という感情を受け止めてあげること(傾聴)が大事。共感した後に正論を話しましょう。
- 困った事例** 「木を見て森を見ない。目的を考えず、仕事=作業になっていて、目の前にあるものをこなすだけの部下」

考えた対応案 作業経験しかない部下には、仕事には目的がある事を説明し理解してもらえない。全体像を話しながら時間はかかるけど納得させること。根気強くやるしかない。

【解説】 △ 「スモールチャンク型(詳細の部分に注意が向く)」の部下には、指摘する前に、まずは目の前の作業をきちんとこなしたことを認めてあげることです。その上で、やっている作業(木)が目的(森)にどう繋がっているのか、全体像を説明しましょう。

information

~お問い合わせ・お申し込み~

株式会社るるキャリア

TEL：054-252-8820 Mail：info@uruoipplus.jp

URL：http://www.uruoipplus.jp/training.html

■女性活躍推進に関するレポート

○女性活躍推進お役立ちレポート JOKATSU+VOL.1~6 ※今号VOL.6で最終回となります。

○静岡県内企業における「女性活躍推進に関する調査」集計結果報告

※以上の2つはHPよりダウンロードできます。

○経営者・人事向け無料セミナー「企業の成長は女性が握る!」Vol.1~3

女性活躍企業の事例研究会・セミナーの内容をまとめた報告レポート

○【冊子】JOKATSU+~5年後の会社を変える、女性活躍推進のススメ~

「管理職になりたい?なりたくない?」「仕事と出産の両立」働き女子ホントのトコロ」など活躍女性のリアルな声を載せた冊子を作成いたしました。

※ご希望の方はお電話または、HPよりお申し込みください。

